

三洋化成グループのあゆみ

三洋化成グループは、高級石鹼を製造販売する合名会社多田石鹼油脂製造所として、1907年に京都の地ではじまりました。1949年戦後日本の不況の中、東洋棉花（株）と東洋レーヨン（株）の合弁会社（資本金400万円、従業員数123名）として再スタートし、1963年に社名を三洋化成工業に改めました。

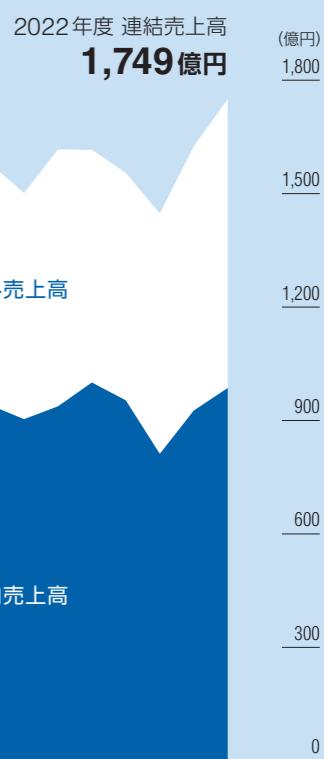


創業時の多田石鹼油脂製造所：場所は現在の京都工場の辺り

1907	合名会社多田石鹼油脂製造所
1949	三洋油脂工業株式会社として創業 出資：東洋棉花（株）、東洋レーヨン（株）両社50% 出資金400万円、従業員数123名
1959	総合研究所稼働
1960	川崎工場（現・サンケミカル株式会社）稼働
1963	三洋化成工業株式会社に社名変更
1966	サンノプロ株式会社設立 サンアボット有限会社（現・サンアプロ株式会社）設立
1968	大阪証券取引所第二部、 京都証券取引所（2001年閉鎖）に上場 名古屋工場稼働

1976	鹿島工場稼働
1977	株式会社サン・ペトロケミカル設立
1978	東京・大阪証券取引所第一部に上場
1982	サンケミカル株式会社設立
1989	SANAMコーポレーション（現・サンヨーケミカル・アメリカInc.）設立

1997	サンヨーカセイ（タイランド）リミテッド設立
1999	衣浦分工場（現・衣浦工場）稼働
2001	サンダイヤポリマー株式会社 (現・SDPグローバル株式会社) 設立
2003	企業倫理憲章制定 三洋化成精細化学品（南通）有限公司設立 三大雅精細化学品（南通）有限公司設立 サンライズケミカルLLCを持分法適用会社化
2005	サンヨーケミカル・テキサス・インク（現・サンヨーケミカル・テキサス・インダストリーズLLC）設立
2007	三洋化成（上海）貿易有限公司設立
2008	韓国三洋化成株式会社設立 桂研究所稼働
2010	台湾三洋化成股份有限公司設立
2015	SDPグローバル（マレーシア）SDN. BHD. 設立
2017	GC Polyols Co.,Ltd. 設立
2018	韓国三洋化成製造株式会社設立
2019	一般財団法人三洋化成社会貢献財団設立
2022	東京証券取引所プライム市場へ移行 富士フィルム三洋化成ヘルスケア株式会社設立



※1994年度から連結開示スタート
1999年度から本格連結決算スタート

技術・製品関係

1960	ポリウレタンフォーム原料「サンニックス」、 ポリエチレングリコール「PEG」開発
1963	潤滑油添加剤「アクループ」開発
1969	高分子凝集剤「サンフロック」開発
1972	トナーバイnder「ハイマー」開発
1977	高吸水性樹脂「サンウェット」開発
1978	EIA用臨床検査薬開発
1982	燃料油用低温流動性向上剤「キャリオール」開発
1986	アルミ電解コンデンサ用電解液「サンエレック」、 合成木材「サンモジュール」開発
1992	ウレタン樹脂エマルション「ユーコート」開発
1994	合成樹脂用永久帯電防止剤「ペレスタット」開発
1999	電気二重層キャパシタ用電解液「パワーエレック」開発
2000	高級アルコール系非イオン界面活性剤 「ナロアクティー」開発
2002	ウレタンビーズ「メルテックス」開発
2003	ポリエステルビーズ（重合トナー中間体） 「アベックスナロー」開発
2004	泥水掘削工事用掘削泥水剤「レバフロー」開発
2005	肺小細胞がん用EIA臨床検査薬開発
2006	製造専用医薬品「ラウロマクロゴール100」開発
2007	ハードディスク基板製造工程用洗浄剤 「ケミクリーンPR」開発
2008	シリコンインゴット用切削剤「ハイスタートSK」開発
2009	心不全臨床検査薬「スフィアライト proBNP」開発
2010	高吸水性樹脂「サンウェットSG」開発 合成樹脂用永久帯電防止剤「ペレクトロン」開発
2011	医療機器の薬事承認を初取得
2012	ポリウレタンフォーム原料の新しい製造プロセス開発
2014	初の医療機器となる外科用止血材「ハイドロフィット」発売
2015	臨床検査薬用磁性粒子「マグラビッド」開発
2016	「カルプロテクチン モチダ」が潰瘍性大腸炎の 体外診断用医薬品として日本初の承認取得
2017	衣料用液体洗剤基剤「エマルミンCS」開発
2019	スキンケア用非イオン界面活性剤 「アルファピュール HSG」開発
2020	アミノ酸型両性界面活性剤「ピュセリア AMC」開発
2021	寝具用ウレタンフォーム向け原料 「サンニックスFA-817」開発
2022	環境負荷低減に貢献できる衣料用洗剤基剤 「ミセランドSCD-100」開発